

2021年度 活動報告

一般財団法人

東京都ひとり親家庭福祉協議会



2021年11月13日(土) 開催 七五三を祝う会

【開催目的・背景】

七五三を祝うためには、着付、ご祈祷料、写真撮影、食事代など出費がかさむことが多い。多忙なひとり親家庭の中には、我が子の成長をお祝いしたいという気持ちを持ちつつも諦めているご家庭もある。そこで当協議会では、ささやかながらお祝いの気持ちを込めて、お祝い会を開催し、写真撮影、参拝、食事の提供を行った。

【参加者】

東京都在住のひとり親家庭の親子 10組20名

【開催内容】

当協議会所有の着物を使用し、着付けを行い、写真撮影後、近隣の東京大神宮にお詣り。その後、セントラルユースホテルでお祝いの食事会。撮影写真は大小2種類の台紙に貼り、後日郵送。その他、着付や参拝の様子などを撮影したスナップ写真データも送付。

【ご支援くださった企業様】

<特別協賛> 野村不動産ホールディングス株式会社 (Nomura Real Estate Holdings, Inc.) 様

<ご支援> 株式会社パソナグループ (Pasona Group Inc.) 様 カメラマン・運営スタッフとして
株式会社ファーストウォーク 様 運営スタッフとして



2021年12月18日(土) 開催 クリスマス会

【参加者】

東京都在住のひとり親家庭の親子 9組24名

【開催内容】

東京セントラルユースホステルでクリスマスランチを楽しんだ後、NPO法人東京都児童文化協会様の指導により、クリスマスカードと願い風の作成を実施。クリスマスプレゼント付きでジェスチャーゲームを競った後は、各自持ち寄ったプレゼントを交換。企業様からいただいた持ちきれないほどのプレゼントを抱えて笑顔で帰途についた。

【ご支援・ご協賛くださった企業様】

- ・ 株式会社パソナグループ (Pasona Group Inc.) 様
運営スタッフ・プレゼントご協賛
- ・ 株式会社学研ココファン 様
プレゼントご協賛
- ・ (一社) こどもの笑顔弁当 様
テイクアウト用軽食ご協賛



2022年1月8日(土) 開催 新春の集い「餅つき凧あげ大会」

【開催趣旨】

都内で凧あげが許されている公園も少ないこともあり、凧あげやかるとなど、昔ながらのお正月らしい遊びをする機会が少なくなった。そこで、餅つき体験の傍ら、昔からお正月に親しんでいたあそびをふんだんに取り入れて親子で楽しんでもいただく機会を設けた。

【参加者】

東京都在住のひとり親家庭の親子 10組22名

【開催内容】

一つの凧に親子で協力しながら絵付けをしてもらい、コンテストでナイスデザイン賞を選出。自分でついたお餅をたくさん食べた後は、広い公園に移動後、絵付けをした凧を飛ばし、凧あげ名人を競った。餅つき体験の合間は、けん玉名人から指導を受けたり、かるたを楽しんだ。

【ご協力くださった方々】

学生ボランティア2名、地区ひとり親会長4名
社会人ボランティア3名



2022年1月8日(土) 開催

新春の集い 「餅つき風あげ大会」②

【参加者感想】

- 先日は楽しい時間をありがとうございました。親子で風の絵を描いたりする時間は今まで無かったので楽しかったです！またお餅も食べ切れないほど頂いてどれもおいしかったです。子どもは特にお餅つきが楽しかったようで冬休みの宿題の1行日記に『お正月ってたのしいな』と書いてました。ボランティアの方も大勢いらっやってたくさんのスタッフの皆さまがサポートいただいて声かけしてくださって感謝します。
- ここ最近、中止が相次いでなかなか参加ができなかったお餅つき。体験できて、とても嬉しかったです。家ではなかなか出来ないお正月を沢山感じる事ができました。こどもが季節の行事を体験できる貴重な機会。けん玉の教え方もとても分かりやすく、こども達の(親も?)「できた!」の笑顔が沢山の、とても素敵でした。カルタ取りも優しく進めて下さり、こども達が夢中で楽しんでるのが印象的でした。お餅もとてもおいしかったです。残念ながら、うちは風上げには参加できなかったのですが、皆と一緒に楽しく作った風は大切に飾ってあります。時間が出来たら、こどもと一緒に大空に飛ばしにいたいと思っています。
- 息子はもちろん、私もとても楽しかったです。1日にぎゅっと沢山の遊びが出来て、とても充実していました。スタッフの方が皆さんとても優しくて気さくで、こちらも緊張せずにいられました。特にけん玉に息子が夢中になりメルカリでけん玉買いました!(笑)経験から何か学んだり感じたり親子共に、ありがたいイベントでした。または是非、参加させていただきたいです。
- こういった集まりに参加するのは初めてでしたので親子共々少し緊張感でしたが、皆さん温かいお声がけやサポートのおかげでとても楽しく過ごすことが出来ました。餅つきはなかなか行いう機会がないので、子供達の良い経験となりました。また風上げも初めて行いとても楽しかったようで、帰宅後もまたやりたいと言っていました。私自身も同じ境遇の方とお会いすることがなかなかないので、今回他のお母さんとお話することが出来、とても元気をいただきました。



2022年2月26日開催 早春の雛祭り遠足 ～まちかど雛めぐり①

【参加者】 東京都在住のひとり親の親子 8組 18名

【開催場所】 埼玉県さいたま市岩槻駅周辺

【開催内容】

小学生9名、中学生1名の女の子とその親とともに、人形の町で知られる埼玉県岩槻で毎年開催されている「まちかど雛めぐり」への遠足を実施。雛祭り御膳でお祝いした後、グループごとに町の至る所に置かれた雛段や城下町だった風情ある街並みの撮影に繰り出す。食事前にプロの写真講師から写真撮影についてのレクチャーを受け、街歩き中も指導を受ける。ひとり親Tokyoフォトコンテストを開催し、とっておきの作品を出品していただいた。



2022年2月26日開催

早春の雛祭り遠足

～まちかど雛めぐり② フォトコンテスト

【グランプリ】



講師講評

お願いしているのか、それとも、お祈りしているのか。そう思うと、窓の光が後光を差しているように見えてくるから不思議。ネズミちゃんを下からアップで撮ったことで、写真を見る人の想像力が広がりました。ネズミちゃんのそばで、優しく微笑むお猿さんとのバランスが絶妙。この名脇役のおかげで、二人の楽しい会話が聞こえてくるようです。撮る人の「いいな」と感じた気持ちが素直に伝わってくる、とても素敵な写真です。

【準グランプリ】



講師講評

青く澄み切った冬の空と、大きな人形の手ひらに座った赤い十二単のお雛様。この二つの色のコントラストが、とても美しい1枚です。さすが人形の町だけあって、町中に人形があふれていましたが、まさか外にもお雛様がいるなんて！背景にある電線や木の位置から、見上げるくらい高い場所にあったのだとわかります。よく見つけましたね。写真を見る人も「あっ、こんなところにお雛様が！」って、思わず叫びたくなる楽しい写真です。

【審査員特別賞】



講師講評

光の入り方で予想もしない写真が撮れることがあります。この写真も、窓からの逆光と雛人形の鮮やかな色味がいい具合に反応して、とても幻想的になりました。奥に並ぶ透明の人形ケースの反射が、さらにいい味つけをしていますね。実際に目で見える景色とは違う景色。こんな偶然を、これからも楽しんでほしいという思いから選びました。大人からは見えない角度で撮った視点もとても新鮮。新しい世界を見せてくれて、ありがとう。



2022年2月26日開催

早春の雛祭り遠足

～まちかど雛めぐり③ 伊東宏子氏（写真講師）より

「まちかど雛めぐり」にて、写真の撮り方ミニ講座の講師をさせていただきました。

人形の町、埼玉県岩槻。駅前に降り立って、まず目に飛び込んできたのは「〇〇人形」の文字。さすが人形の町と感心しながら、私の気づきをスマホカメラで撮影しました。

最初に、老舗料亭にて写真の撮り方ミニ講座で撮影のコツをレクチャー。何かを見て思わず写真を撮りたくなるのは、「あ、いいな」と心が動いたときです。その時に自分がどんな風に気づいたか、記憶まで記録してくれるのが写真。まずは、その「いいな」と思った自分の気持ちに気づき、どこがいいと思ったか、それをどんな風に伝えたいか。もう一步深堀することで、構図は自然と決まってきます。駅前で撮った私の写真をみなさんにシェアして、「私は〇〇と感じて、〇〇と思ったから、こんな風に撮りました」と気づきを言葉にし、イメージ通りに撮るコツをお伝えしました。

ひな祭り膳で料理写真撮影。食事の後は、料亭内にある大きなひな壇や吊るし飾りを前に各自撮影タイム。一つのスマホを一緒に覗き込む親子、それぞれに持っているスマホで撮った写真を見比べている親子、こどもがじっくり撮る様子を側で見守る親。スマホカメラが当たり前に日常にある今、改めて「写真を撮る」ことに向き合う親子の時間は新鮮に感じるのでしょうか。「こどもの視点って面白いですね!」と言う親御さんの言葉が印象的でした。

料亭の後は、古民家が点在する城下町を親子で撮り歩き。商家に伝わる古い人形や、岩槻で活躍する職人の作品を前に、撮りたいものがたくさんあって「もう300枚も撮った!」と嬉しそうに報告してくれる子も。

写真は撮ろうと思うとモノの見方が変わってきます。普段何気なく歩いていても、キレイなもの、かわいいもの、かっこいいものにフォーカスするようになります。そう思うと、実は自分の周りには素敵なものがあふれていることに気づくのです。そんなことをお伝えしていると、「日常をそんなふうにしたことがない」という方がほとんど。仕事に子育てに一所懸命な親御さんの日常が、会話の中からも伝わってきました。毎日いろいろあるけど、視点を少し変えると違った世界が見える。この講座がそんな視点に気づききっかけになったらいいなと思っています。

季節の行事に親子で楽しんだ記憶は、その後の子どもの心の支えになり、親子共通の財産になるでしょう。忙しいひとり親にとって、このような取り組みは大変有意義です。私自身もみなさんからの「楽しかった!」の言葉に、たくさんの元気をいただきました。

2022年3月21日開催 春休み特別企画 「親子で楽しむポニー乗馬体験」

【参加者】 東京都在住のひとり親の親子 10組 20名

【開催場所】 茨城県取手市 小貝川ポニー牧場

【開催内容】

都会に住んでいるとなかなか動物と触れ合う機会が少ない。今回は、そんなひとり親家庭の子供たちを連れて茨城県にある小貝川ポニー牧場まで遠征した。都心から電車で約1時間弱で自然豊かな環境を体験することができる。

午前中は馬場で十分に馬に慣れた後、午後は河川敷で春の穏やかな気候の中、ゆっくりと歩みを進めた。親と子それぞれが、牧場指導員のきめ細かいサポートのもと、時間の許す限り乗馬を楽しんだ。乗馬の合間に、自分たちが作った焼き板に思い思いのペイントをしたり、炭火で焼いた焼き芋も満喫。仲良くなったポニーにはじっくりと心を込めたブラッシングと好物のニンジンでささやかなお礼ができた。

春休みのよき思い出の一つとなったことと願う。



2022年3月27・28日開催 入学進級お祝い 「絆キャンプin白樺高原」

【参加者】 東京都在住のひとり親の親子 12組 24名

【開催場所】 立科 白樺高原

【開催内容】

まだ雪の残る早春の立科白樺高原で、雪と戯れ、様々な雪遊びを行った。夜は、都会ではなかなか見られない距離感で澄み切った満点の星空を堪能した。シンガーソングライター三ツ矢竹輝氏による季節感のある選りすぐりの曲のコンサートで一日を締めくくった翌日、再び雪遊びを存分に楽しみ、帰途についた。

雪を見ただけでいろいろな遊びを考えつく子供の想像力とバイタリティにより意味で圧倒された。

